

2019年度

大学院学生募集要項
博士課程



Kobe City University of Foreign Studies

公立大学法人 神戸市外国語大学

大学院外国語学研究科

目 次

■募集要項

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	2
4. 入学者の選抜	3
5. 入学手続	3
6. 入学必要経費	4
7. 入学時期	4
8. 長期履修学生制度	4

■外国語学研究科（博士課程）概要	5
------------------	---

■添付書類

- ・入学願書
- ・入学資格審査申請書（該当者のみ）
- ・長期履修申請書（希望者のみ）
- ・受験票及び払込受付証明書貼付書
- ・払込取扱票
- ・受験票送付要封筒

個人情報の取扱いについて

本学大学院研究科では、出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報、入学者選抜、合格者発表および入学手続き等を行うために利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

2019年度 博士課程学生募集要項

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
文化交流専攻	言語コース	12名
	文化コース	
	国際社会コース	

2. 出願資格

以下の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者または2019年3月31日までに取得見込みの者(※注1)
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または2019年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または2019年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または2019年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または2019年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、神戸市外国語大学(以下「本学」という)大学院研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者(平成元年文部省告示第118号)
- (7) 本学大学院研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年3月31日までに24歳に達する者。この場合、下記の事前資格審査を受ける必要があります。

事前資格審査

① 申請書類

(ア) 入学資格審査申請書

(イ) 研究計画書1部 (2ページの3.出願手続 (4)出願書類等の⑤を参照してください。)

(ウ) 最終出身学校の卒業(修了)証明書(または卒業(修了)見込証明書)及び学業成績証明書 各1部
(提出要領は2ページの3.出願手続 (4)出願書類等の [注意事項]2を参照してください。)

(エ) 審査結果送付返信用封筒 (長形3号、縦23.5cm×横12cmに速達用郵便切手362円分を貼付し宛先明記)

② 申請期間

2018年11月14日(水)から11月21日(水)まで【必着】

③ 申請先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班
書留郵便で郵送(角形2号封筒を使用し表に「博士課程 入学資格審査申請書類在中」と朱書き)

④ 審査結果の通知

2018年12月17日(月)までに通知します。出願資格の認定を受けた者は、出願手続を出願期間内に行ってください。(※出願書類中の修了証明書または修了見込証明書、学業成績証明書の提出は不要。)

3. 出願手続

志願者は、出願書類を一括し、角形2号の封筒を用いて、**書留速達**で下記の出願期間内に本学に必着するように郵送してください(封筒の表に「**博士課程入試出願書類在中**」と朱書きしてください)。

(1) 出願期間

2019年 1月 8日(火)から 2019年 1月 15日(火)まで【必着】

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

(3) 受験上特別な配慮を必要とする志願者について

障がい※を有する場合、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ本学大学院班に申し出て、相談を行ってください。

相談の期間 2018年11月16日(金)まで

※障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)その他の心身の機能の障がいがある者を指します。

(4) 出願書類等

書 類 等 の 名 称	摘 要										
① 入学願書・受験票	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真を貼り付けてください。										
② 修了証明書または修了見込証明書	出身大学大学院の学長または研究科長が作成したもの(厳封)										
③ 学業成績証明書	出身大学大学院の学長または研究科長が作成したもの(厳封)										
④ 修士論文等	修士論文2部。修士論文を提出しないで修了した場合は、それに代わる研究論文を提出してください。なお、提出された論文等は返却しません。										
⑤ 研究計画書	<p>3部(様式任意)。A4用紙を使用し右上に氏名・志望するコースを記入してください。</p> <p>(1) 作成言語</p> <table border="0"> <tr> <td>・英語学/英米文学・文化領域</td> <td>日本語または英語</td> </tr> <tr> <td>・ロシア語学/ロシア文学・文化領域</td> <td>日本語またはロシア語</td> </tr> <tr> <td>・中国語学/中国文学・文化領域</td> <td>日本語または中国語</td> </tr> <tr> <td>・イスパニア語学/イスパニア文学・文化領域</td> <td>日本語、英語またはイスパニア語</td> </tr> <tr> <td>・上記以外の領域</td> <td>日本語のみ</td> </tr> </table> <p>(2) 研究課題 在学中に行う研究テーマを日本語50字相当で記してください。</p> <p>(3) 研究目的 在学中に、何を、どこまで解明するかに関心を絞って日本語1,000字相当で具体的に記してください。</p> <p>(4) 研究計画 研究目的を達成するための計画・方法を年度ごとに記してください。 2019年度 日本語400字相当 2020年度 日本語300字相当 2021年度 日本語200字相当</p> <p>(5) 従来の研究経過・成果との関連 従来の研究経過・成果がこの研究計画を推進するうえでどのように関連するか、日本語1,000字相当で説明してください。</p> <p>(6) 研究計画に関する国内外の研究状況 研究計画に関する国内外の状況と、本研究の位置づけについて、日本語1,000字相当で説明してください。</p>	・英語学/英米文学・文化領域	日本語または英語	・ロシア語学/ロシア文学・文化領域	日本語またはロシア語	・中国語学/中国文学・文化領域	日本語または中国語	・イスパニア語学/イスパニア文学・文化領域	日本語、英語またはイスパニア語	・上記以外の領域	日本語のみ
・英語学/英米文学・文化領域	日本語または英語										
・ロシア語学/ロシア文学・文化領域	日本語またはロシア語										
・中国語学/中国文学・文化領域	日本語または中国語										
・イスパニア語学/イスパニア文学・文化領域	日本語、英語またはイスパニア語										
・上記以外の領域	日本語のみ										

⑥	入学選抜料	26,000 円 ・郵便局の窓口で、願書受付一週間前から受付期間内に所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ※ATM(現金自動預入払出機)での振込みはしないでください。 ・必ず郵便局の日付印が押された【振替払込受付証明書(お客さま用)】を同封の貼付書に貼り付けて提出してください。 ・入学選抜料が振込まれていない場合や、【振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けていない場合、または【同受付証明書】に郵便局の日付印がない場合は、願書は受理しません。
⑦	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に返信先を明記し、切手 362 円分を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 出願書類提出後は、いかなる理由があっても提出書類の変更を認めません。
2. 外国の学校または機関が発行した証明書等が、日本語または英語以外の言語の場合は、厳封を解いたうえで和文または英文翻訳を添付してください。その際は、出身・所属学校、公的機関、または日本語学校等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。ただし、ロシア語・中国語・イスパニア語の領域に出願する場合は、それぞれの専攻の言語で発行された証明書の提出を認めます。(翻訳不要)
3. 結婚等で証明書の氏名と違っている場合は、それを証明する戸籍抄本等を提出してください。
4. 本学の在学生・卒業生については②・③の書類の提出は必要ありません。
5. 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。
 - a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合
 - c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合
 ※上記のaからcに該当する場合は、必ず出願締切日から1カ月以内に神戸市外国語大学経営企画グループ財務班に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。(TEL 078-794-8123) なお、返還金は振込手数料を差し引いた金額となります。
6. 出願後に住所等を変更された場合は、必ず研究所グループ大学院班(受付時間 8 時 30 分～12 時 30 分、13 時 30 分～17 時 15 分、土日祝を除く)に連絡し、変更の手続きを行ってください。(TEL:078-794-8238)

4. 入学者の選抜

入学者の選抜は、出願書類と学力試験の結果を総合して行います。

(1) 学力試験

2019年2月16日(土) 午前10時～ (場所:神戸市外国語大学 学舎)

	筆答試験 10:00～11:30 (90分)	口述試験 13:00～
文化交流専攻	志望する研究テーマに関する専門知識と分析力について行います。	提出論文および研究計画に関して行います。

(2) 合格発表

2019年2月22日(金) 午前10時

本学本部棟前の掲示板、本学ホームページへの合格者受験番号の掲示、掲載とともに、受験者全員に合否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

5. 入学手続

2019年3月15日(金) 午前10時～12時 および 午後1時～3時

合格者は、所定の期間内に入学金を納入するとともに書類を提出してください。詳細は合格通知に同封します。
 なお、指定日に入学手続きを行わない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続きは原則として認めません。また、入学手続き完了後は、いかなる理由があっても納入された入学金は返還しません。

6. 入学必要経費

入学金(入学手続きに必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000 円	神戸市民とは、入学の日(4月1日)の1年前から引き続き本市に住所を有する者をいいます。 その子弟とは、本市民の配偶者、または、その2親等内の親族をいいます。
	(上記以外の方) 423,000 円	
授 業 料	(前期分) 267,900 円	(年額) 535,800 円

(注) 1.上記の金額は、改定する場合があります。

在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

2.本学大学院研究科修士課程から引き続き博士課程に進学する者は、入学金については、免除されます。

入学金以外で入学時に納付をお願いしている費用

- ・神戸市外国語大学同窓会(楠ヶ丘会)会費 30,000 円(入会金として)
本学卒業生で在学時に入会されていた場合は不要
- ・神戸市外国語大学伸興会会費 50,000 円(3年分。入会金 20,000 円、会費 30,000 円)
本学卒業生で在学時に入会されていた場合は入会金不要
- ※神戸市外国語大学伸興会とは、正会員(学生の保証人)及び賛助会員(本会の主旨に賛同する財政的援助者)をもって組織され、大学の発展に寄与することを目的として設立された団体です。
- ・学生教育研究災害傷害保険料 2,600 円(3年分)
- ・神戸市外国語大学消費生活協同組合出資金 20,000 円
出資金については組合員の資格がなくなった際(修了など)に全額返金されます。

7. 入学時期

2019年4月 入学式の日時等は、合格通知に同封します。

8. 長期履修学生制度

職業等を有する等の事情により、研究・学習活動の時間に制約があり、標準修業年限(3年)では修了することが難しいため、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

出願時に、申請書(長期履修申請書)と、在職証明書等長期履修が必要であると証明できる書類を添えて申請してください。口述(面接)試験の際に、希望理由等について質問を行い、審査を行います。

※長期履修学生制度を申請予定の方は、事前に必ず大学院班にご相談ください。

※入学後の申請は受付けません。

※内容確認のため、追加で書類の提出を求められることがあります。

※詳細は、本学ホームページにて確認ください。

・対象者

入学を許可され、以下の理由により就学時間が制限される者。

- ① 職業を有し、就業している
 - ② 家事、育児、介護等の事情を有する
 - ③ その他やむを得ない事情により標準修業年限で修了することが困難である
- ※留学生(留学ビザ取得(見込)者)は対象外。

・履修期間

標準修業年限(3年)を越えた場合で、在学年限の範囲内(6年)で1年単位。

・授業料

標準修業年限分の授業料総額に相当する額を、長期履修期間に応じて納付。

外国語学研究所(博士課程)

大学院教育目標

(博士課程)

博士課程においては、従来の学問領域を学際的視点から再構築する、独創性と創造性を兼ね備えた研究者の育成を目指す。

アドミッション・ポリシー

時代が大きく移り変わるなか、これまで世界を支えてきた秩序、体制が揺ぎ、新たな国際環境が生まれつつあります。絶えず変化する環境のなかで、それに応じた人材が社会に必要とされる一方、人文社会科学の価値も問い直される時期にきています。

本学では、こうした時代と社会の要請に応え、新しい知の体系の創造を担うことのできる幅広い学識と国際感覚を有する学術研究者・教育者、および高度専門職業人の育成を教育の基本方針とし、修士課程と博士課程を設置しています。

大学院入学者選抜試験では、人文社会科学の各分野における専門的知識を有するとともに社会が直面する課題に幅広い関心を持ち、国際的な場でも活動しうる外国語能力にすぐれた人材を求めます。

<博士課程>

人文社会科学の最先端をリードし、国際的に貢献できる研究者を育成することを目的として、学術的動向の第一線において独自の視点から問題の発見とその解決を行うための指導を行います。

[求める学生像]

1. 人文社会科学における最先端に立とうとする強い意思を持った人
2. 現在の学術的動向を注視し、自らの視点により問題を発見しようとする人

文化交流専攻の構成

「言語コース」

日本を起点としてアジア言語と欧米言語という大きな枠組みを設け、各言語の交流、接触と個々の言語の研究を目指します。

○授業担当専任教員 ※授業科目名は2018年度時点の情報です。今後変更する場合があります。

授 業 科 目 名	単 位	2019年度担当予定者	
日本語演習Ⅰ(日本語習得研究) 1・2	1・1	准教授	岩男 考哲
日本語演習Ⅱ(日本語変異研究) 1・2	1・1	教 授	中井 幸比古
日本語演習Ⅲ(日本語文法研究) 1・2	1・1	教 授	福田 嘉一郎
アジア言語演習Ⅱ(中国語歴史文法研究) 1・2	1・1	教 授	竹越 孝
アジア言語演習Ⅳ(東南アジア言語研究) 1・2	1・1	教 授	林 範彦
アジア言語演習Ⅵ(現代ロシア語研究) 1・2	1・1	准教授	金子 百合子
アジア言語演習Ⅶ(日中対照研究) 1・2	1・1	教 授	下地 早智子
アジア言語演習Ⅷ(中国語意味論研究) 1・2	1・1	教 授	任 鷹
欧米言語演習Ⅲ(語用論・談話分析研究) 1・2	1・1	教 授	山口 治彦
欧米言語演習Ⅵ(認知言語学研究) 1・2	1・1	教 授	本多 啓
欧米言語演習Ⅶ(第二言語習得論研究) 1・2	1・1	教 授	M. Sanz
欧米言語演習Ⅷ(第二言語教育政策研究) 1・2	1・1	教 授	D. Tatsuki

「文化コース」

日本を含むアジア地域、中近東とアジアの一部を含むイスラム圏、ヨーロッパと南北アメリカに分け、それら相互の交流、接触と個々の文化研究を行います。

○授業担当専任教員

授 業 科 目 名	単位	2019 年度担当予定者	
日本文化演習Ⅲ(ポピュラー文化史研究) 1・2	1・1	准教授	山本 昭宏
アジア文化演習Ⅲ(ロシア文学研究) 1・2	1・1	教 授	清水 俊行
アジア文化演習Ⅳ(ロシア思想史研究) 1・2	1・1	教 授	北見 諭
欧米文化演習Ⅰ(イギリス文化研究) 1・2	1・1	教 授	新野 緑
欧米文化演習Ⅱ(アメリカ文化研究) 1・2	1・1	教 授	D.Farrah
欧米文化演習Ⅳ(アメリカ文学研究) 1・2	1・1	教 授	難波江 仁美
欧米文化演習Ⅴ(スペイン文学研究) 1・2	1・1	教 授	野村 竜仁
欧米文化演習Ⅵ(ラテンアメリカ文学研究) 1・2	1・1	教 授	成田 瑞穂
欧米文化演習Ⅺ(中欧文化史研究) 1・2	1・1	教 授	山之内 克子

「国際社会コース」

激動と変革の時代の中で大きく揺れ動いている国際社会を、その基盤となる地域社会の研究を出発点にしながら相互関係を含めて総合的に研究を進めます。

○授業担当専任教員

授 業 科 目 名	単位	2019 年度担当予定者	
国際法政比較研究Ⅶ(国際政治学研究) 1・2	1・1	准教授	五月女 律子
国際経済・経営比較研究Ⅳ(国際金融論研究) 1・2	1・1	准教授	江阪 太郎
国際経済・経営比較研究Ⅴ(産業組織論研究) 1・2	1・1	教 授	田中 悟
国際経済・経営比較研究Ⅶ(国際商務論研究) 1・2	1・1	教 授	中村 嘉孝
地域研究Ⅱ(アジア地域論研究) 1・2	1・1	教 授	千葉 典
地域研究Ⅵ(民族問題研究) 1・2	1・1	准教授	大石 高志

研究指導体制

博士論文指導を含めて、原則として単一の指導教授による単独指導体制をとっています。したがって本学博士課程の各コースに進学した場合、その専攻分野に応じて指導教授が指定され、指定の指導教授のもとで3年間研究指導および論文指導を受けます。ただし、専攻分野の性格上、複数の指導教員(主、副)による指導を受けることが望ましいと判断される場合には、複数指導を行います。

特に言語、文化の交流・接触を研究する場合には、専門を異にする複数の指導教員による研究指導体制をとることが、本学博士課程の趣旨・特徴に沿うものであると考えます。

【問合せ先】

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

TEL: 078-794-8238 FAX: 078-794-8160 e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp

ホームページ: <http://www.kobe-cufs.ac.jp>

※シラバスは「本学ホームページ → シラバス検索」を参照してください。